

**道内で11年ぶりに牛のアカバネ病が発生しています！**

後志管内で2頭の牛のアカバネ病の発生が確認されています。前回の道内での発生は2011年で、11年ぶりとなります。

発生年月日	頭数	発生時の症状
2022年12月20日	1頭	斜頸（頭部が斜めに傾いた状態）
2023年 2月14日	1頭	起立不能、右前肢の湾曲

アカバネ病は、牛に死流産等の異常産を引き起こすウイルス感染症で、届出伝染病に指定されています。ウイルスは吸血昆虫(ヌカカ)により媒介されます。治療法はありませんが、ヌカカの活動前のワクチン接種により予防可能です。

**【主な症状】**

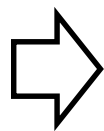
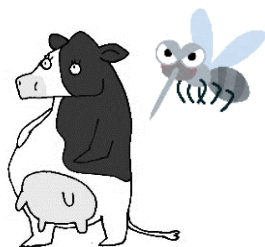
**成牛**:ほとんど症状はないが、体型異常産子の娩出による難産

**子牛(生後感染)**:運動失調、起立困難又は不能、後肢麻痺、  
神経症状

**妊娠牛**:早死産、先天性の奇形を伴った異常子牛の娩出

**異常子牛の特徴**・・・四肢の湾曲、脊柱の湾曲・斜頸  
内水頭症(大脳欠損)、頭部の変形  
虚弱、歩行困難～起立不能

夏～秋  
ウイルス保有  
ヌカカにより  
妊娠牛が感染



冬～春  
異常産発生



四肢の関節拘縮(十勝家保原図)

**異常産発生時には家畜保健衛生所へ  
病性鑑定依頼願います**

北海道石狩家畜保健衛生所

TEL: 011-851-4779

夜間・休日の緊急時※

TEL: 011-204-5000

※夜間、休日の緊急連絡先は北海道庁中央司令室が窓口となります。

担当者に「石狩家保への緊急連絡」とお伝えください。